

【書く・なぞる】俳句 松尾芭蕉 三

蛤の ふたみに別れ 行く秋ぞ

名月や 池をめぐりて 夜もすがら

桜咲く 木の間を移る 影法師

古道具 酒はおおらか 草の庵

秋涼し 手毎にむきて 通草の実